

第 29 回 青梅市公共交通協議会

基本計画推進状況について

1. 報告事項
 - (1) 市広報紙による公共交通の利用促進について
 - (2) 公共交通ガイドの更新について
2. 協議事項
 - (1) 観光におけるMMIについて
 - (2) 学校教育におけるMMIについて
 - (3) 事業所におけるMMIについて

平成31年3月29日

1 報告事項

(1) 市広報紙による公共交通の利用促進について

広報おうめに、公共交通に関する以下の啓発記事を掲載した。

12月21日（金）の深夜バスが 増便されます

**対象路線（名称） 立川 問い合わせ 西東京バス
く 河辺線（楽帰い！） 青梅営業所 ☎ 32・06**

**運賃 西東京バスホーム 21、市まちづくり政
ページ参照 策課**

バス停	時刻
立川駅北口	1：20
拝島駅南口	1：40
熊川駅	1：44
牛浜駅入口	1：46
福生市役所	1：47
福生駅西口	1：51
福生消防署	1：52
神明台1丁目	1：56
羽村駅東口	1：59
羽村市役所	2：01
小作駅東口	2：05
河辺町7丁目	2：08
河辺駅北口	2：17

初日の出は御岳山下

く JRは終夜運転します

東京スカイツリーや新宿副都心の高層ビル群まで見通せる御岳山。幻想的な夜景、漆黒の中に浮かぶ星空、そして輝かしい初日の出を、ぜひご覧ください。JRでは臨時電車（立川駅発御嶽駅行き）を運行します。

※青梅駅く御嶽駅間は途中停車しません。

●初日の出オースメスポット
ト：富士峰園地大展望台休憩所、武蔵御嶽神社、日の出山

※山道は暗いのでライトの準備を！

問い合わせ ケーブルカー：御岳登山鉄道

立川駅	河辺駅	青梅駅	御嶽駅
2：18	2：43	2：48	3：04
3：10	3：35	3：40	3：56
4：02	4：27	4：32	4：48

☎ 78・8121、バス庫 ☎ 83・2126
：西東京バス氷川車

「広報おうめ」12月15日号(42,400部印刷発行)

配布方法：新聞折込 31,800部、個別配達 5,100部、残部は公共施設、駅やスーパー等で配布

公共交通機関 春のダイヤ改正

市内を運行する公共交通機関には、ダイヤ改正を予定している事業者があります。ご利用の際は、あらかじめ各事業者のホームページ、各駅やバス停の表示などをご確認ください。

問い合わせ まちづくり政策課

「広報おうめ」3月15日号(42,400部印刷発行)

配布方法:新聞折込 31,800部、個別配達 5,100部、残部は公共施設、駅やスーパー等で配布

(2) 公共交通ガイドの更新について

前回の青梅市公共交通協議会でいただいたご意見、事前確認の際にいただいたご意見、事務局内での意見を踏まえ、公共交通ガイドを更新した。

公共交通に関する啓発記事を掲載した。(公共交通ガイドは、別紙参照)

	主なご意見	対応
前回協議会での ご意見	開きたくなるような表紙にしてほしい	扉絵の変更
	インターネットによる時刻表やバスの運行状況などの情報の検索案内も載せてはどうか	事業者ごとにQRコードを掲載
	「主な行き方」の掲載施設はニーズに合っていないのではないかと	地域ごとにある市民センターを削除、観光・レジャースポットを追加し、写真を掲載
	「バスのご利用案内」は、説明をわかりやすくした方がよい	ICカードの説明を修正
事前確認でのご意見	扉絵のタクシーは京王タクシーのイメージにしてはどうか	扉絵のタクシー修正
	扉絵にケーブルカーを追加してはどうか	扉絵にケーブルカー追加
	QRコードのリンク先変更	修正
	時刻表の改正・修正	修正
	停留所名、行き先等の修正	修正
事務局内の意見	閉館する施設の削除、変更	修正

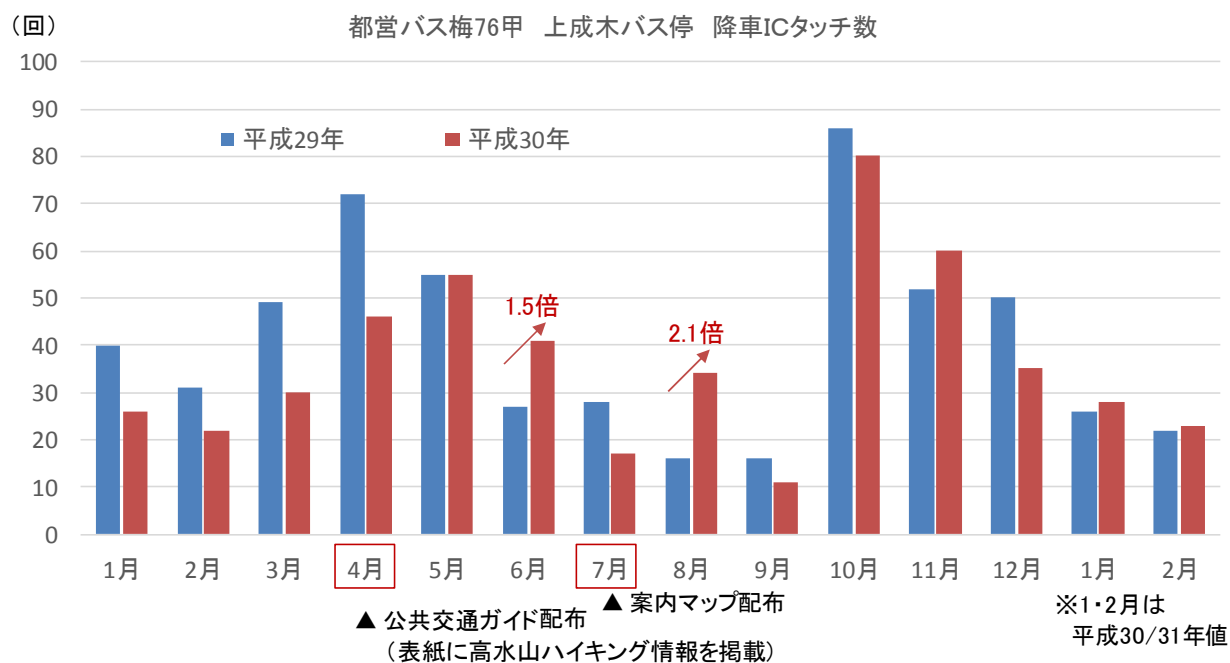
2 協議事項

(1) 観光におけるMMについて

1) 今年度の取組と利用状況

公共交通ガイドに高水山ハイキングの情報を掲載し、平成30年4月に配布した。また、公共交通を利用して行く高水山ハイキングコースの案内マップを作成し、同年7月に配布した。

利用状況として、上成木バス停の降車ICタッチ数を見ると、6月が前年同月比で1.5倍、8月が2倍の伸びとなっている。



2) 次年度の取組の方向性

公共交通ガイドおよび案内マップの配布により、一定の利用促進効果がうかがわれることから、引き続き、高水山の別コースの案内マップ、霞丘陵ハイキングコースの案内マップ等を作成・配布し、観光におけるモビリティ・マネジメントにより公共交通の利用促進を図る。

※霞丘陵ハイキングコース案内マップ(イメージ)



霞丘陵ハイキング 交通のご案内

おすすめの順路



行き 吹上しょうぶ公園・塩船観音寺までの交通



○河辺駅→吹上しょうぶ公園へ【河辺駅北口 時刻表】

乗車：河辺駅北口バス停①
都営バス 梅 77 甲
下車：吹上しょうぶ公園入口

吹上しょうぶ公園・塩船観音寺へ

塩船観音寺へ

○河辺駅→塩船観音寺へ
乗車：河辺駅北口バス停①
都営バス 梅 77 甲
下車：塩船観音寺入口
または
乗車：河辺駅北口バス停②
西東京バス 河 11
下車：観音寺入口

のりば①

梅 77 甲 裏宿町(青梅駅・塩船循環)行

時	平日	土曜	休日
06 23	32 45	36 57	37 58
07 02	15 26 50	18 40	22 46*
08 12	38	03 35 58*	02 29 44*
09 08	16 29 46 59	57	11 41
10 26	48	05 19 25 29 55	00 20 49
11 11	*	30 43	10 35
12 07	*	06 30 40	05 28 40 55*
13 04	30 58	06 25 31 50	03 28 35 58
14 13	33 37	15 38	23
15 04	27 39 57	02 20 45	00 15 30 56
16 19	41	20 35	25
17 13	49	04 31	03 26 37 49*
18 13	41	03 26 46	02 32 35
19 02	33	01 17 29 54	00 29 52*
20 03	26 50	15 36 58	15 43 58
21 11	30*	20	20

のりば②

河 11 小作駅東口行

時	平日	土休日
06 08	19 38 54	27
07 06	19 38 50	01 38
08 19		04 43
09 07	43	07 39
10 26		08 38
11 01	39	11
12 26		06
13 01	39	11
14 26		13
15 00	35	13
16 06	32	13 55
17 07	48	42
18 28	54	14 54
19 16	44	19 45
20 00	26 50	10
21 12	45	14
22 10	55	18

【河辺駅北口バスのりば】



無印：河辺駅北口行(塩船循環)※午前のみ外回り
オ：青梅駅前行
シ：青梅車庫行
ウ：裏宿町行

帰り JR東青梅駅/西武飯能駅までの交通



○岩蔵温泉→JR東青梅駅へ
乗車：岩蔵温泉バス停(A)
都営バス 梅 74 甲乙
または
西武バス 飯 41
下車：東青梅駅北口
または
乗車：岩蔵温泉バス停(B)
都営バス 梅 74 甲乙
下車：東青梅駅北口

【岩蔵温泉 時刻表】

JR東青梅駅へ

西武飯能駅へ

○岩蔵温泉→西武飯能駅へ
乗車：岩蔵温泉バス停(B)
西武バス 飯 41
下車：飯能駅南口

のりばA

梅 74 甲乙 裏宿町行

時	平日	土曜	休日
06 03	14 55	14 47	14 53
07 14	42	25	28
08 43	48	48	48
09 51	41	47	47
10		38	38
11 52	+	03	38
12 37	55	07	30
13 57	39	40	40
14			
15 03	46	30	30
16 42	38	38	38

のりばA

飯 41 東青梅駅行

時	平日	土休日
07 06	28	04
08		01
09 04		39
10 59		
11		11
12 39		
13		59
14 09		
15 39		21
16 29		
17 59		39
18 32		

のりばB

梅 74 甲乙 裏宿町行

時	平日	土曜	休日
07 47	48		
08			
09			
10 44			
11			
12			
13		58	28
14 10			
15 46			
16			09
17 36	03	29	
18		13 47	59
19 06	29	31	
20 26	26	29	
21 36	36	36	

のりばB

飯 41 飯能駅南口行

時	平日	土休日
07 55		49
08 22		41
09		
10 06		20
11 41		57
12		
13 19		
14 56		40
15		
16 21		05
17 25		
18 41		26
19 35		

【岩蔵温泉バスのりば】



オ：青梅駅前行
シ：青梅車庫行
河：河辺駅北口行



時刻表は平成 30 年 3 月現在のものです。
ダイヤ改正等で変更になる場合がありますので、ご利用の際は、運行会社等へご確認ください。

青梅市経済スポーツ部まちづくり政策課
0428-22-1111

(2) 学校教育におけるMMについて

1) 実施概要

①交通環境学習の目的

- 小学生(低学年)を対象に、路線バスを用いた乗車体験を通して、乗降の仕方やマナー、公共交通としての路線バスの大切さ等について学習してもらう。
- 学習を通して、路線バスに興味や親しみを持ってもらい、路線バスに乗車する機会の増加や、将来も移動手段の一つとして自然に選択できるような意識の醸成をはかり、路線バスの永続的な利用促進につなげる。

②対象

- 青梅市立成木小学校の1年生(10名)、2年生(11名)の合計21名

③実施日時

- 平成31年2月26日(火)
- 9:30~10:15の1コマ45分間

④実施場所

- 座学は、教室で実施
- 乗車体験は、成木小学校の隣接駐車場

⑤実施内容

所要時間	講座	実施	学習内容
15分 ※移動時間含む	座学	クラス担任 ※必要な資料等はコンサルタントが用意	チラシやスライドを用いて乗り方、ルール等を説明する ・市内の公共交通の概要 ・身近なバス路線の行先 ・時刻表の調べ方 ・バスの乗り方・降り方 ・整理券と運賃表の見方
30分	乗車体験	バス事業者	隣接駐車場に路線バス車両を持ち込み、乗車体験を実施する ・バス車両の見学(座学内容の体験:乗車方法やマナー) ・バリアフリーに対応した低床バス車両の学習 ・車いす利用者の介助の仕方 ・運転席体験(死角やバックミラー) ・内輪差、オーバーハング等の実演

2) 実施結果



座学時の状況



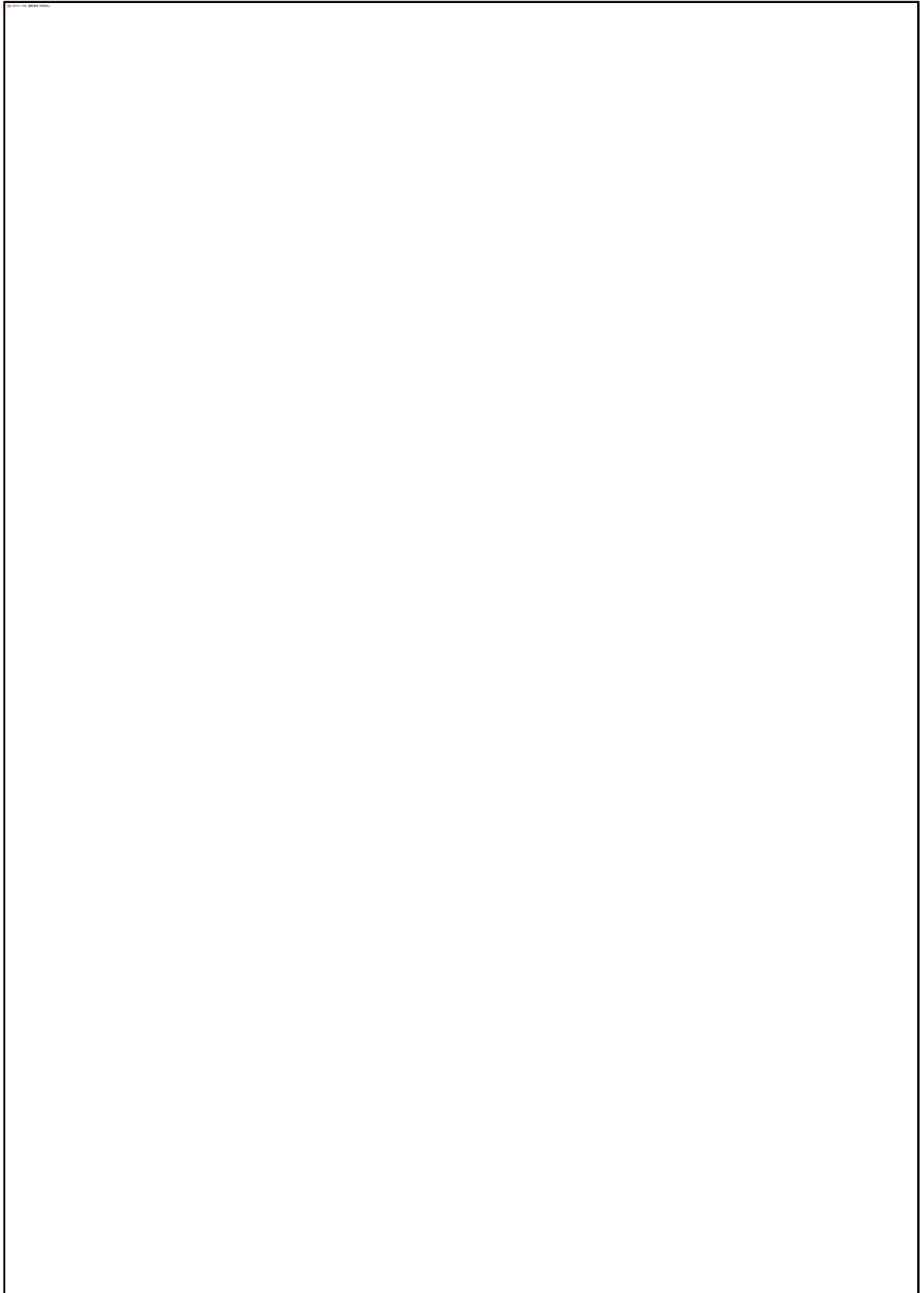
座学で用いた教材



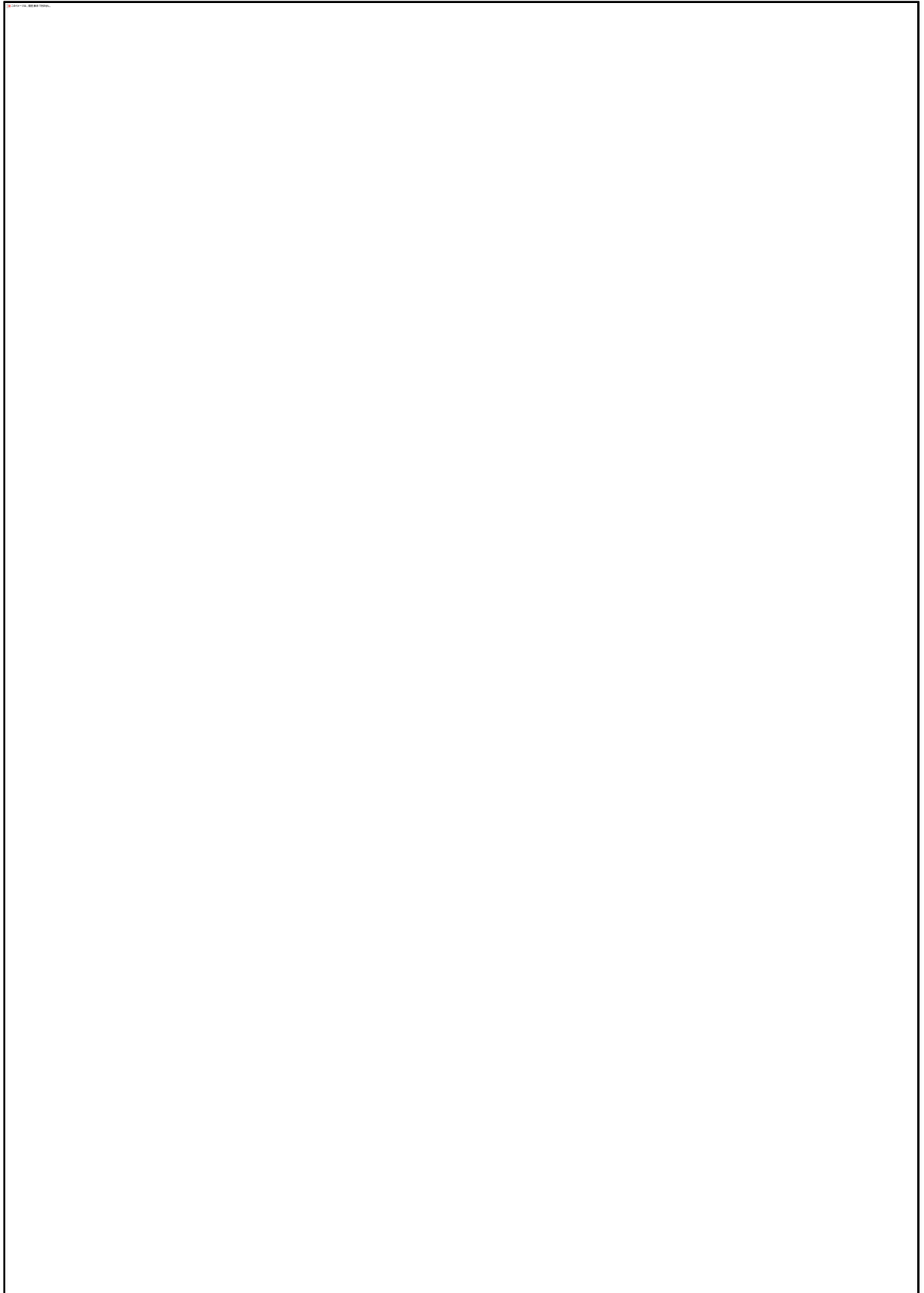
乗車体験時の状況(運転席の体験)



乗車体験時の状況(車いすの介助実演)



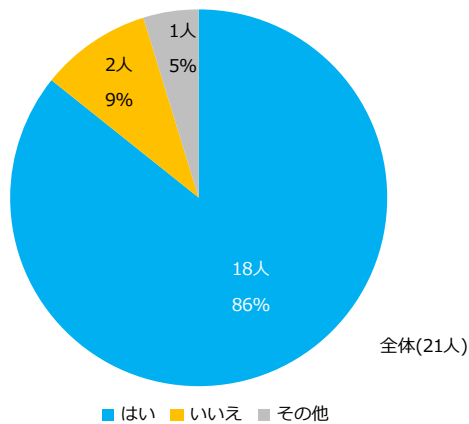
宿題(表面)



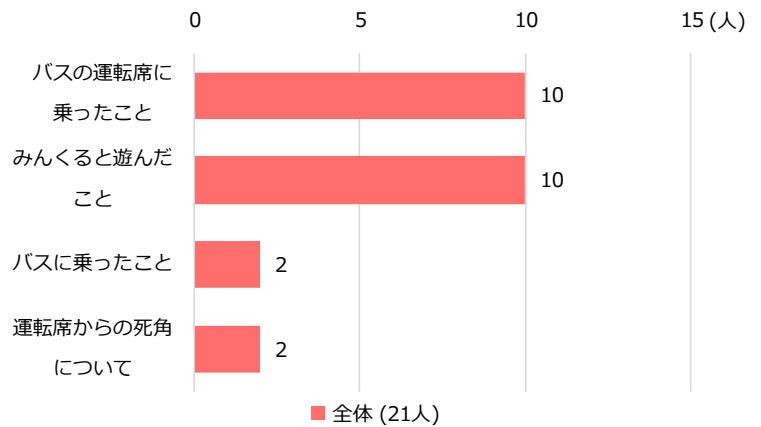
宿題(裏面)

- 楽しかったことについては、「バスの運転席に乗ったこと」と「みんなくると遊んだこと」が最も多い。
- おうちの人と話した内容については、「バスの乗り方について」や「運転席からの死角について」などが多くなっている。
- バスについてもっと知りたいと思うと答えた児童は 21 人中 18 人となった。

バスについて、もっと知りたいと思いましたか？

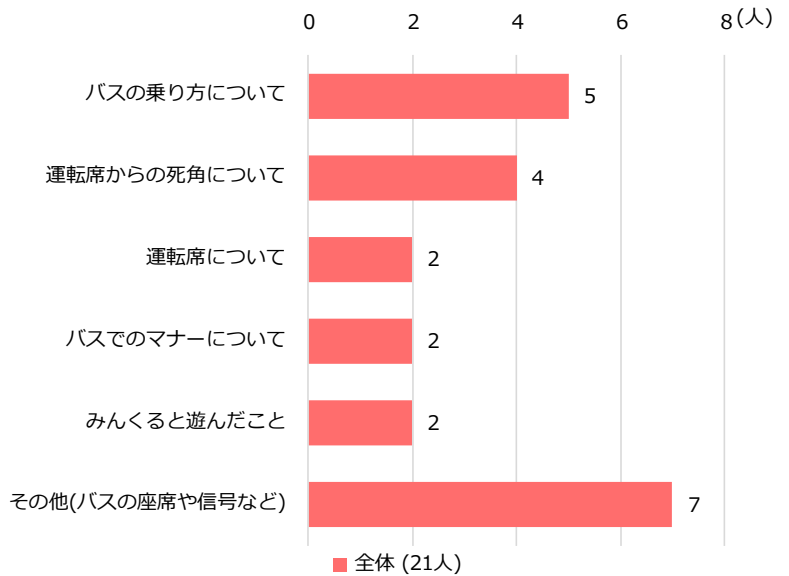


今日学習したことの中で、楽しかったことは何ですか？



※複数回答あり

今日学習したことについて、おうちの人とどんなお話をしましたか？



※複数回答あり

3) 次年度の取組の方向性

今年度実施した交通環境学習については、低学年向けにわかりやすい内容とし、学習後に家庭で話題としてもらうことができた。

次年度は、今年度の実施結果を踏まえ、中学年や高学年を対象として、より深い交通環境学習の企画・実施を想定している。(今年度よりも確保できる授業のコマ数も増加する見込み)

(3) 事業所におけるMMについて

1) 実施概要

青梅市三ツ原工業団地において、事業所MMの可能性を探るため、三ツ原工業会の会員事業所に対し、アンケート調査を実施した。

①アンケート調査の目的

- 青梅市では、近年の少子高齢化に伴い通勤・通学交通が減少し、公共交通の維持が困難になりつつある。このような中、青梅市公共交通協議会では公共交通の利用促進に取り組んでいる。
- 三ツ原工業団地には、比較的高い頻度で路線バスが運行され、公共交通による通勤の利便性は一定程度確保されているものの、運行本数は5年前と比べて20本(2割近く)減少している。現行の運行本数を維持するため、通勤における公共交通の利用促進を図っていく必要がある。
- このため、三ツ原工業団地の企業・従業員を対象とした通勤における公共交通利用促進の取り組みの可能性について、意見をうかがう。

②対象

- 三ツ原工業会の会員事業所 72社

③実施日時

- 平成31年2月14日(木)～3月11日(月)

④アンケート調査票

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for a survey form but contains no text or graphics.

2) 実施結果

- 回答数:8社(回収率 11.1%)
- 通勤時の交通手段について、いずれの企業も「マイカー」が最も多くなっている。
- 三ツ原循環の改善要望としては、増便を希望する意見が複数みられる。
- マイカー利用抑制や公共交通利用推奨などの取組を行っている企業はなかったが、今後取組を行う意向があると答えた企業は8社中2社であった。

問3	通勤交通手段の選択について、会社独自の決まりがあるか教えてください
A社(18人)	就業規則に従う
F社(15人)	採用時に本人と相談して決める
問4	通勤手当の支給について、自動車と公共交通の違いはあるか教えてください
A社(18人)	就業規則内の規定での支払い
B社(30人)	自動車: 駐車場代は各自負担とし、燃料費は就業規則通りに支給 公共交通: 通勤に関わる交通費は実経費の計上により総支給
E社(28人)	自動車通勤には一部支給、公共交通通勤には全額支給
F社(15人)	どちらか安い方としている
H社(28人)	自動車だと一部課税だが、公共交通利用だと非課税である
問5	従業員向けの駐車場は足りているか、教えてください
A社(18人)	問題なし
B社(30人)	足りている
C社(20人)	やや不足気味である
D社(6人)	足りている
E社(28人)	現在は足りている
F社(15人)	余裕はないが足りている
G社(86人)	現在は足りている
H社(28人)	一部借用しているが足りている
問6	通勤時の交通全般に関する問題があれば、教えてください (例: 通勤時に渋滞して時間がかかる、路線バスの本数が少ないなど)
B社(30人)	路線バスの本数が少ないため、停車場での待ち時間が多くかかる
F社(15人)	特に朝・夕の時間帯について、バスが通る道での事故が心配だ
H社(28人)	当社の向かいの会社の大型車が道路いっぱいになる時があり(特に朝の通勤時)とても危険である。交通整理の人を増やして欲しい。大雨時(当社の前の道路は川のようにになる)、特に通勤時は対処が大変である
問7	三ツ原循環への改善要望
B社(30人)	土日の本数が少ないため、公共機関を利用する際には、不便を感じる
C社(20人)	本数を増やしてほしい
F社(15人)	日中の乗降客の少ない時はミニバスでも良いのではないか
H社(28人)	通勤時(朝・夕)に大変混むため(特に雨の日)、増便を考えてほしい(朝など乗れない時もある)

0内は従業員数

3) 次年度の取組の方向性

マイカー利用抑制や公共交通利用推奨等の交通環境向上に関する取り組みの実施意向がある事業所を対象として、公共交通利用促進に対する取り組みの支援を実施する。

具体的には、従業員へバスマップや啓発チラシを配布し、その前後での公共交通の利用状況の変化を調査することを想定する。

